

銀嶺の果て (1947)

メディア 映画

ジャンル サスペンス アクション アドベンチャー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1947/08/05

【解説】

黒澤明との共同脚本をもとに、谷口千吉が初めてメガホンをとったデビュー作。見事な脚本とダイナミックなロケーションが評価された。音楽に伊福部昭、出演に志村喬と三船敏郎と、豪華なメンバーが顔をそろえている。

野尻と江島と高杉が北アルプスにやって来る。三人は銀行強盗をして逃げ込んできたのだ。いったん温泉に逃れた三人だったが、スキー客に気づかれたためさらに山奥へ。しかし自分たちを追ってくる犬に向けて発砲したため、高杉は雪崩に飲み込まれてしまう。野尻と江島は小さな山小屋にたどり着いた。小屋の老人と娘、そして登山家の三人は、二人を温かく迎え入れる。野尻は徐々に心を開き始めるが、江島は本田に道案内を強要し、雪の溪谷をさらに進んでいくのだった。

【クレジット】

監督	谷口千吉	
製作	田中友幸	
脚本	黒澤明	Akira Kurosawa
	谷口千吉	
撮影	瀬川順一	
美術	川島泰三	
編集	長沢嘉樹	
音響効果	三縄一郎	
音楽	伊福部昭	
特殊技術	東宝技術部	
出演	志村喬	野尻
	三船敏郎	Toshiro Mifune 江島
	若山セツコ	春坊
	河野秋武	本田
	小杉義男	高杉
	高堂国典	スキー小屋の爺
	深見泰三	署長
	坂内栄三郎	刑事
	浅田健三	新聞記者
	石島房太郎	鹿の湯の主人
	登山晴子	鹿の湯の女中
	岡村千鶴子	鹿の湯の女中
	笠井利夫	学生B
	石田鈺	学生A